ONKYO®

MA-500U

USBオーディオアンプ

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

箱をあけたら、まず

接続と演奏

パソコンを使う

その他

主な特長

■ パソコンとUSBで簡単接続

■ さまざまなオーディオ機器と接続

■ ハイクォリティ15W+15Wアンプ

■ 飛躍的な音質向上、デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する「VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）」搭載

■ デジタル入出力サンプリング周波数は、32、44.1、48、96kHzに対応

■ リモコンで快適操作

■ アルミフロントパネル

■ アコースティックプレゼンス回路搭載

下記の注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

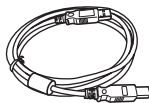
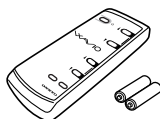
- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- WAVIO®の名称、ロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。
- VLSCの名称、ロゴはオンキヨー（株）の商標です。
- CarryOn Music™の名称およびロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
- Windowsの正式名称はMicrosoft Windows Operation Systemです。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel®、Pentium®は、Intel Corporationの登録商標です。
- Mac、Macintosh、MacOSの名称、ロゴは米国Apple社の商標または登録商標です。

付属品を確認する

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。

- **リモコン（RC-489S）（1）**
- **乾電池（単3形）（2）**

- **USBケーブル（1）**

- **取扱説明書（本書1）**
- **保証書（1）**
- **CD-ROM（CarryOn Music ver2.70 体験版 for Windows）（1）**

ご注意

- MA-500Uは、MS-500との組み合わせで最良の状態になるように設計されております。本体と他のスピーカーとの組み合わせでご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますのでご了承ください。
- カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルをはずし、本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対にカバーは外さない、改造しない

分解禁止

- 本機のカバーは絶対に外さないでください。
  内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部、後部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。

  - 本機を押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにUSBケーブルをはずし、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルをはずし、電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機を机やラックの端に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最少にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。
  磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

⚠注意

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。

● 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、USBケーブルをはずし、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードやスピーカーコードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■スピーカーコードについて

● スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。

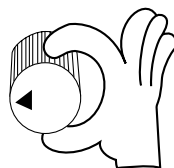
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

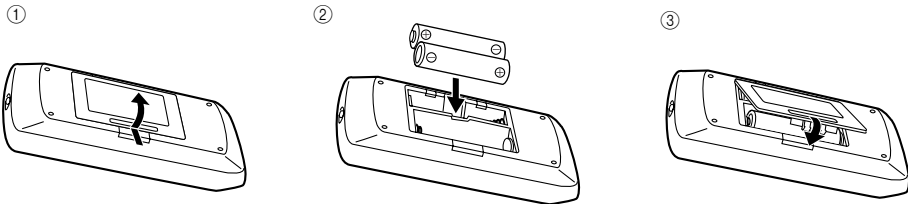
● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

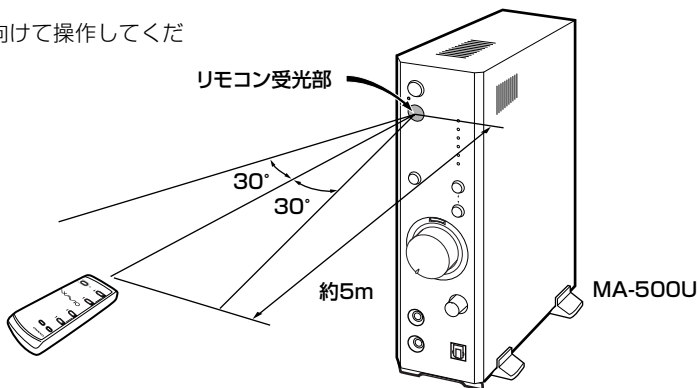
♪音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

リモコンを準備する

乾電池の入れ方と交換のしかた

ご注意

- 電池の極性（⊕、⊖）は表示どおり正しく入れてください。
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属のマンガン電池の寿命は約6ヶ月です。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

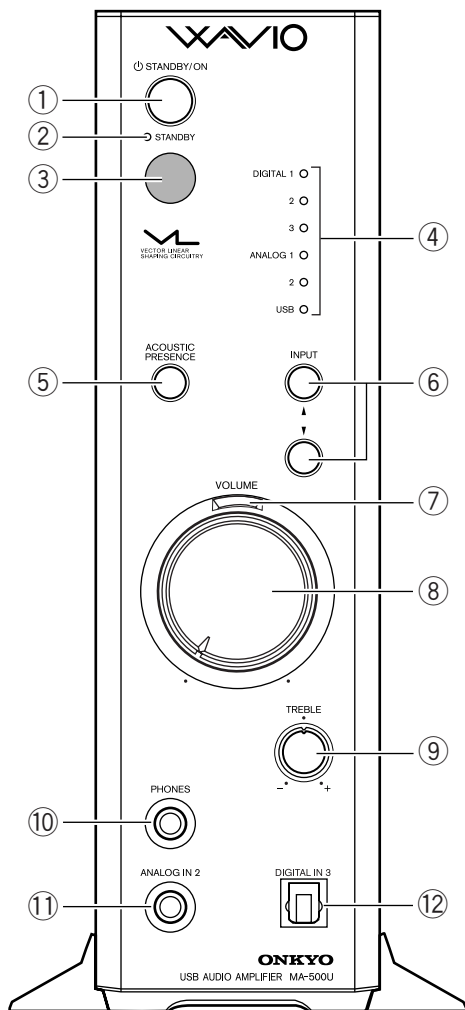
リモコンの使い方

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名称と働き

［ ］内の数字は、参照ページを示しています。

MA-500U前面パネル

① **STANDBY/ON（スタンバイ／電源オン）ボタン[16]**
電源のスタンバイ／オンを切り換えます。

② **STANDBY（スタンバイ）インジケーター[16]**
スタンバイ状態のとき点灯します。

③ **リモコン受光部[9]**

④ **入力インジケーター[17]**
選択されている入力ソースに応じてインジケーターが点灯します。

⑤ **ACOUSTIC PRESENCE（アコースティックプレゼンス）ボタン[19]**
アコースティックプレゼンス（オン／オフ）を切り換えます。

⑥ **INPUT ▲/▼（入力切り換え）ボタン[17]**
入力ソースを選びます。

⑦ **MUTE/ACOUSTIC PRESENCE（ミュート／アコースティックプレゼンス）インジケーター[18、19]**
ミューティング（消音）時は点滅します。また、アコースティックプレゼンスがオンの時は緑色に変わります。

⑧ **VOLUME（音量調整）ツマミ[17]**
音量を調整します。

⑨ **TREBLE（高音調整）ツマミ[19]**
高音の強弱を調整します。

⑩ **PHONES（ヘッドホン）端子[15、18]**
ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。

⑪ **ANALOG IN 2（アナログ入力2）端子[15]**
ポータブルMDプレーヤーなどのヘッドホン出力（ステレオ）を接続します。

⑫ **DIGITAL IN 3（デジタル入力3）端子[14]**
CDプレーヤーやMDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続します。

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

MA-500U後面パネル

① **USB UP（アップポート）端子[21]**
USBケーブルでパソコンのUSB端子と接続します。

② **DIGITAL OUT OPT（光デジタル出力）端子[14]**
光デジタルケーブルでCDレコーダーやMDデッキのデジタル入力端子と接続します。

③ **DIGITAL IN 1 OPT、2 OPT（光デジタル入力）端子[14]**
DVDプレーヤーやCS/BSチューナー、CDプレーヤーなどの光デジタル出力端子と接続します。

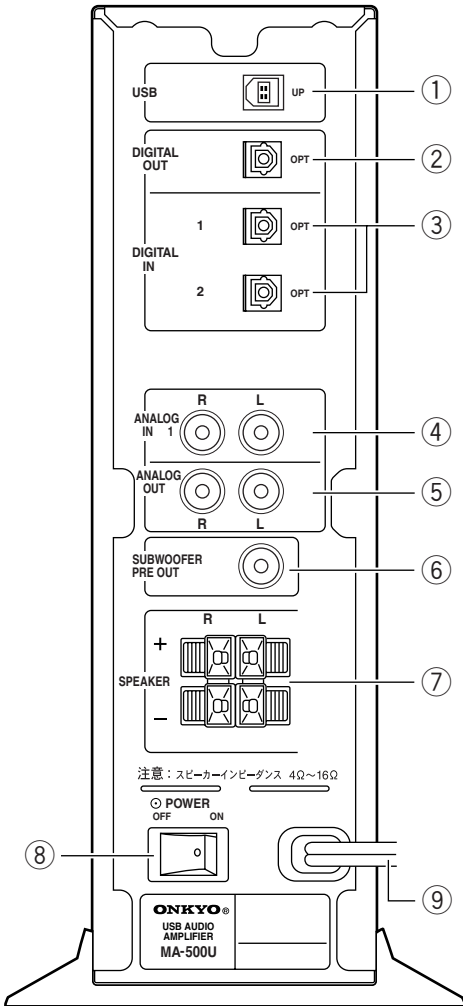
④ **ANALOG IN 1（アナログ入力）端子[15]**
オーディオ用のピンコードでMDデッキやビデオデッキなどのライン出力端子（アナログ）と接続します。

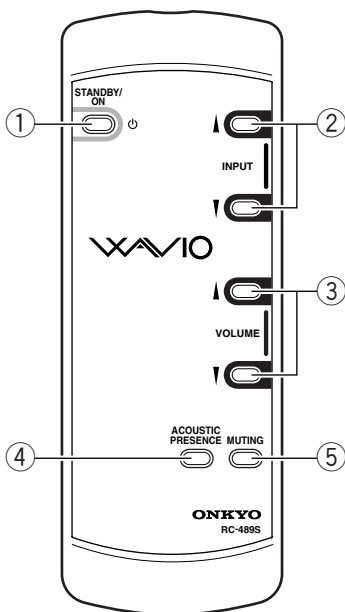
⑤ **ANALOG OUT（アナログ出力）端子[15]**
MDデッキなどの入力端子（アナログ）に接続します。

⑥ **SUBWOOFER PRE OUT（サブウーファー出力）端子[15]**
アンプ内蔵のサブウーファー（アクティブサブウーファー）の入力端子に接続します。

⑦ **SPEAKER（スピーカー)端子[13]**
スピーカー（左／右）を接続します。

⑧ **POWER（主電源）スイッチ[16]**
電源オン／オフを切り換えます。

⑨ **電源コード[16]**
壁コンセントに差し込みます。

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

リモコンRC-489S

① **STANDBY/ON（スタンバイ／電源オン）ボタン[16]**
電源のスタンバイ／オン状態を切り換えます。

② **INPUT ▲/▼（入力切り換え）ボタン[17]**
入力ソースを選びます。

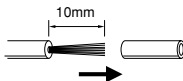
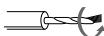
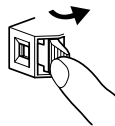
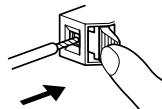
③ **VOLUME ▲/▼（音量調整）ボタン[17]**
▲を押すと音量が上がり、▼を押すと下がります。

④ **ACOUSTIC PRESENCE（アコースティックプレゼンス）ボタン[19]**
アコースティックプレゼンス（オン／オフ）を切り換えます。

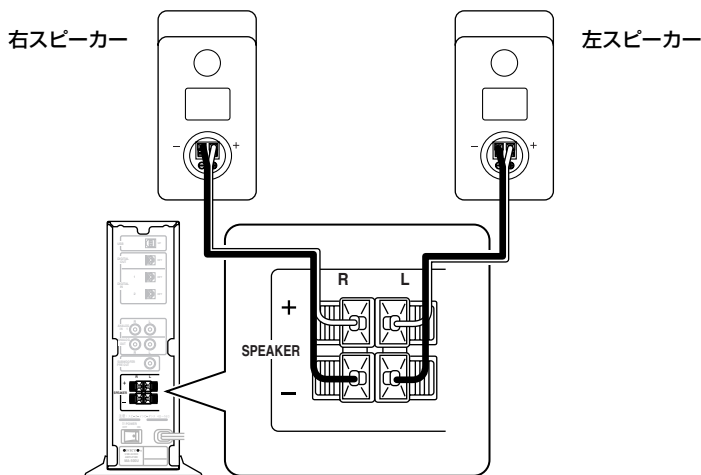
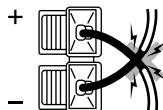
⑤ **MUTING（ミューティング）ボタン[18]**
音量を一時的に下げます。

スピーカーを接続する

接続する前に
スピーカーインピーダンスが4Ω～16Ωのものをご使用ください。4Ω未満のものは使用できません。

① スピーカーコードの先のビニール（絶縁体）部分を、しん線を残して10mmはがします。

② しん線をよじります。

③ レバーを押します。

④ しん線を穴の中に入れます。

⑤ レバーをはなします。

スピーカーの接続図

ご注意

- プラス（+）とマイナス（−）を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。音声が不自然になります。
- 付属のスピーカーコードの白線の入っている方をプラス（+）側に接続してください。

危険
回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはL/Rを絶対にショートさせないでください。

オーディオ機器を接続する

＜デジタル機器との接続＞

CDレコーダー、
MDデッキなど

デジタル
入力（光）

後面パネル

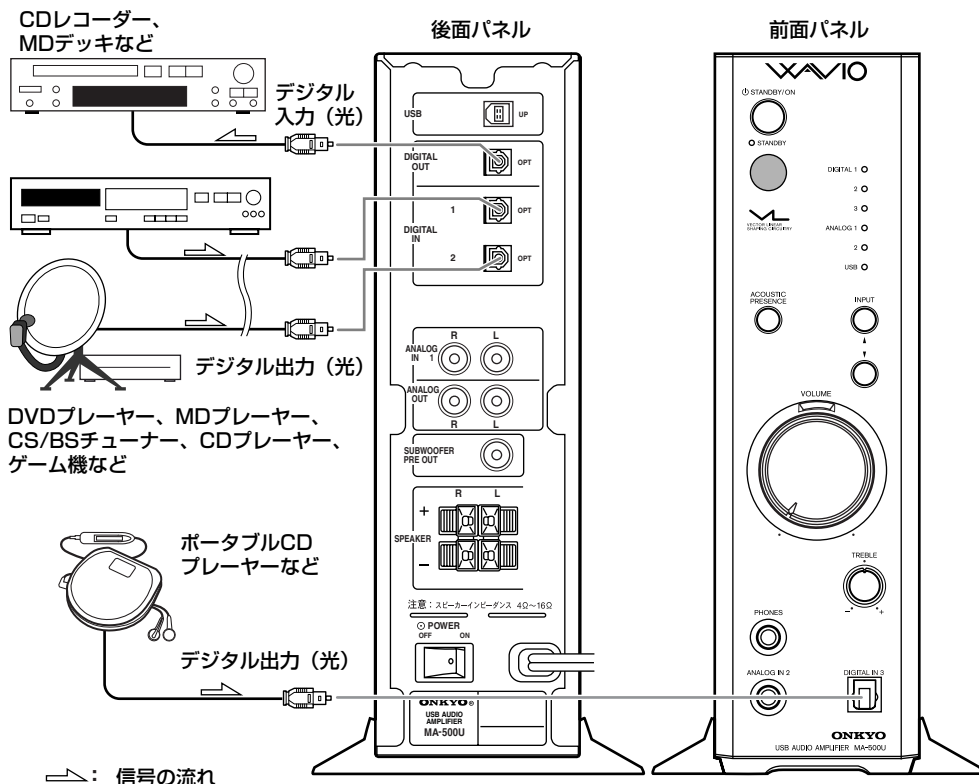
前面パネル

デジタル出力（光）

DVDプレーヤー、MDプレーヤー、
CS/BSチューナー、CDプレーヤー、
ゲーム機など

ポータブルCD
プレーヤーなど

デジタル出力（光）

：信号の流れ

ご注意

- DIGITAL IN 1、2 OPT端子およびDIGITAL OUT OPT端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを必ず元どおりに取り付けてください。

- 前面パネルのDIGITAL IN 3端子にはキャップは付いていません。シャッタータイプですので、フタをそのまま奥へ倒すような感じで光デジタルケーブルを差し込んでください。また、端子の向きにご注意ください。

DIGITAL IN 3

- DIGITAL IN 1および2 OPT端子へ接続するのと同様に、前面のDIGITAL IN 3端子にもDVDプレーヤーやゲーム機、CDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続することができます。

<アナログ機器との接続>

ご注意

ANALOG OUTに接続している録音機器の入力をANALOG IN 1もしくは2に接続した場合、その入力から録音しようとすると、発振します。
入力は、録音機器と異なる機器を選んでください。

後面パネル

前面パネル

USB
UP
DIGITAL OUT
OPT
DIGITAL IN
1
OPT
2
OPT
ANALOG IN 1
R
L
ANALOG OUT
R
L
SUBWOOFER PRE OUT
R
L
SPEAKER
+
−
注意：スピーカーインピーダンス 4Ω〜16Ω
POWER
OFF ON
ONKYO
USB AUDIO AMPLIFIER
MA-500U

WAVIO
STANDBY/ON
STANDBY
DIGITAL 1
2
3
ANALOG 1
2
USB
VECTOR LINEAR SHAPING CIRCUITRY
ACOUSTIC PRESENCE
INPUT
VOLUME
TREBLE
PHONES
ANALOG IN 2
DIGITAL IN 3
ONKYO
USB AUDIO AMPLIFIER MA-500U

出力

入力

ポータブルカセットデッキやMDプレーヤーなど

入力

アンプ内蔵サブウーファー

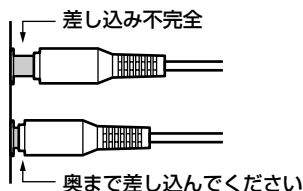
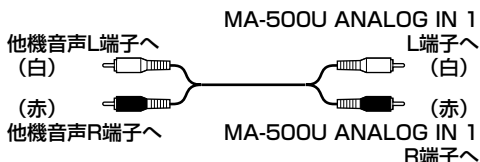
ヘッドホン

出力

ポータブルMDなど

：信号の流れ

- 音声用ピンコードは、次のように接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

電源を入れる

接続する前に

電源コード以外の、すべての接続が完了していることを確認してください。

ご注意

後面のPOWER（主電源）スイッチがONの状態で工場出荷されていますので、電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込むと下記の「電源を入れる」の手順2と同じ状態になります。

1 本機の電源コードを壁のコンセントにつなぐ

2 後面パネルのPOWER（主電源）スイッチをONにする

STANDBY（スタンバイ）インジケーターが赤く点灯します。

3 パソコンを接続しているときは、パソコンを起動する

4 前面パネルまたはリモコンのSTANDBY/ON（スタンバイ／電源オン）ボタンを押す

STANDBY（スタンバイ）インジケーターが消灯し、表示部が点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

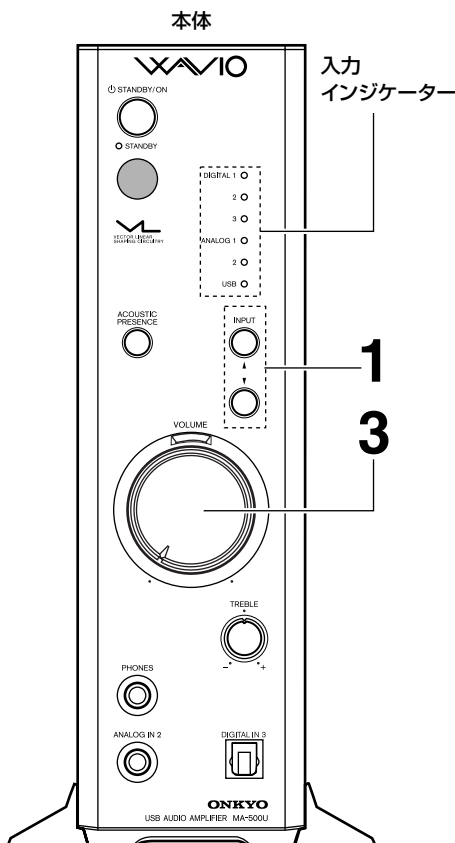
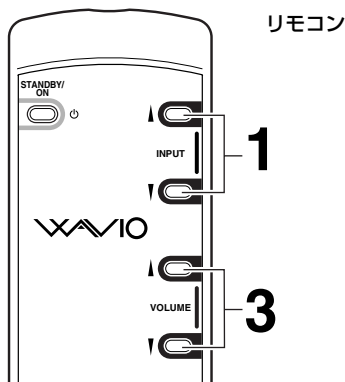
本機の電源コードは極性の管理がされています。

電源コードの白線マークの方を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

誤動作するときは

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などの影響を受けて誤動作するときがあります。このようなときは、電源コードを壁コンセントから一度抜き、5秒以上たってからつなぎなおしてください。

機器を選んで演奏する

- USB UP端子にケーブルが接続されていない場合や接続されていてもパソコンの電源がOFFの場合、“USB”インジケーターがゆっくり点滅します。
- DIGITAL 1〜3についても、それぞれの対応する端子にケーブルが接続されていない場合や、接続した機器の電源がオフの場合、インジケーターがゆっくり点灯します。
- DIGITAL 1〜3に再生不可能なデジタル信号（例えば、ドルビーデジタル信号やDTS信号）が入力された場合、インジケーターがすばやく点滅します。この場合、再生されず、音は出ません。

1 INPUT ▲/▼ボタンまたはリモコンのINPUT ▲/▼ボタンを押して、入力ソースを選ぶ

DIGITAL 1：DIGITAL IN 1 OPT端子に接続された機器

DIGITAL 2：DIGITAL IN 2 OPT端子に接続された機器

DIGITAL 3：前面パネルのDIGITAL IN 3端子に接続された機器

ANALOG 1：ANALOG IN 1端子に接続された機器

ANALOG 2：前面パネルのANALOG IN 2端子に接続された機器

USB：USB UP端子に接続されたパソコン

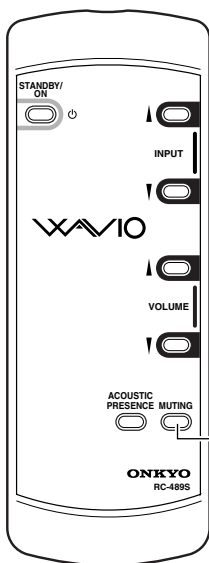
選んだ入力ソースに応じて本機の入力インジケーターが点灯します。

2 選んだ機器の演奏を始める

3 VOLUMEツマミまたはリモコンのVOLUME ▲/▼ボタンで音量を調整する

VOLUMEツマミは、右に回すと音量が上がり、左に回すと下がります。

リモコンのVOLUMEボタンは、▲を押すと音量が上がり、▼を押すと下がります。

音を一時的に消す（ミューティング機能）

音楽を聞いているときに電話がかかってくるなどして、すぐに音を小さくしたいときに役立ちます。

MUTINGボタンを押す

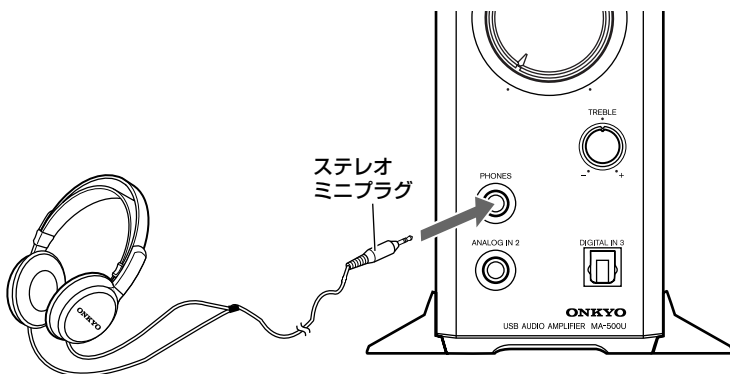
VOLUMEの上のインジケーターが点滅し、一時的に音量を下げます。

MUTING

もう一度押すと、元の音量に戻ります。

ご注意

スタンバイ状態にすると、次に電源を入れたとき、ミューティング機能は解除されています。

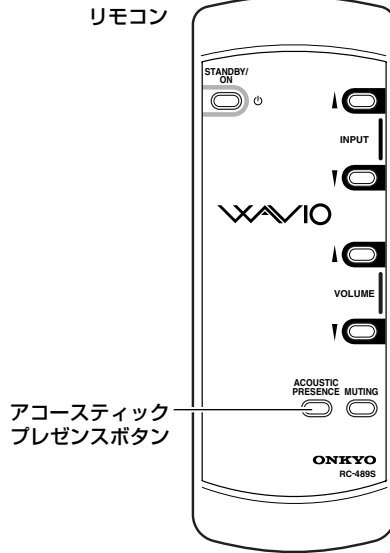
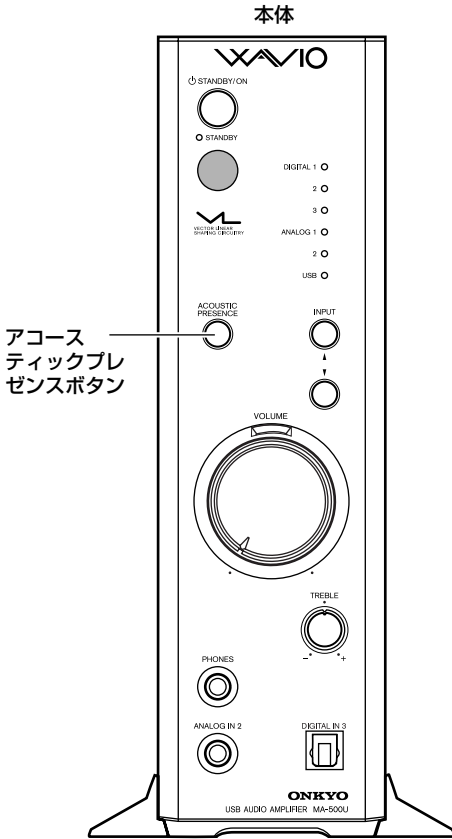
ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続する

ご注意

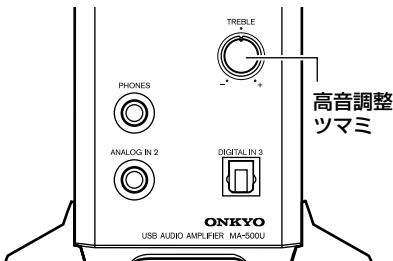
ヘッドホンを接続すると、スピーカーからは音声は出力されません。

ACOUSTIC PRESENCE（アコースティックプレゼンス）について

本体

リモコン

アコースティックプレゼンスとは、音楽のリアルな存在感“プレゼンス”を高める効果を持つ、オンキヨー独自の回路です。特にコンパクトサイズのスピーカーでは、オンでご使用されることを推奨いたします。

オンにするとVOLUMEの上のインジケーターがオレンジ色から緑色に変わります。

高音を調整する

右に回すと高音が強められ、左に回すと弱められます。通常は中央に合わせておきます。

パソコンを使うには

動作環境について ※最新OSに関する対応情報は、オンキヨーホームページをご覧ください。

Windows

- USB規格1.1に準拠したUSBダウンポート標準装備の PC/AT互換機
  ※ Intel製USBホストコントローラ推奨
- Windows 98/98SE/Me/2000/XP
- 64MB以上のRAM

Macintosh

- USBダウンポート標準装備のMacintosh
- Mac OS9.1.0〜9.2.2/10.1.1〜10.1.3以降
  ※ MacOS Xへの対応状況はhttp://www.wavio.net/にてご確認願います。
- 64MB以上のRAM

必要動作環境を満たすパソコンであっても、パソコン固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本製品の動作が正常に行われない場合があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細はhttp://www.wavio.net/でご確認ください。

お使いのパソコンにあわせて設定してください。
設定が済んだら、音楽CDなどを再生してみて、正しく設定できたか試してみましょう。

パソコン設定の手順

① **パソコンを接続する（☞21ページ）**

② **パソコンの設定と操作**

Windowsをご使用の場合（☞22〜27ページ）

Macintoshをご使用の場合（☞28〜30ページ）

用語解説

ドライバとは?
パソコンで周辺機器を利用するために組み込まれるソフトウェアのこと。デバイスドライバともいいます。

デバイスとは?
パソコンの周辺機器全般を意味します。

パソコンを接続する

パソコンとUSB接続する

1 パソコンの電源を入れる

起動していることを確認してください。

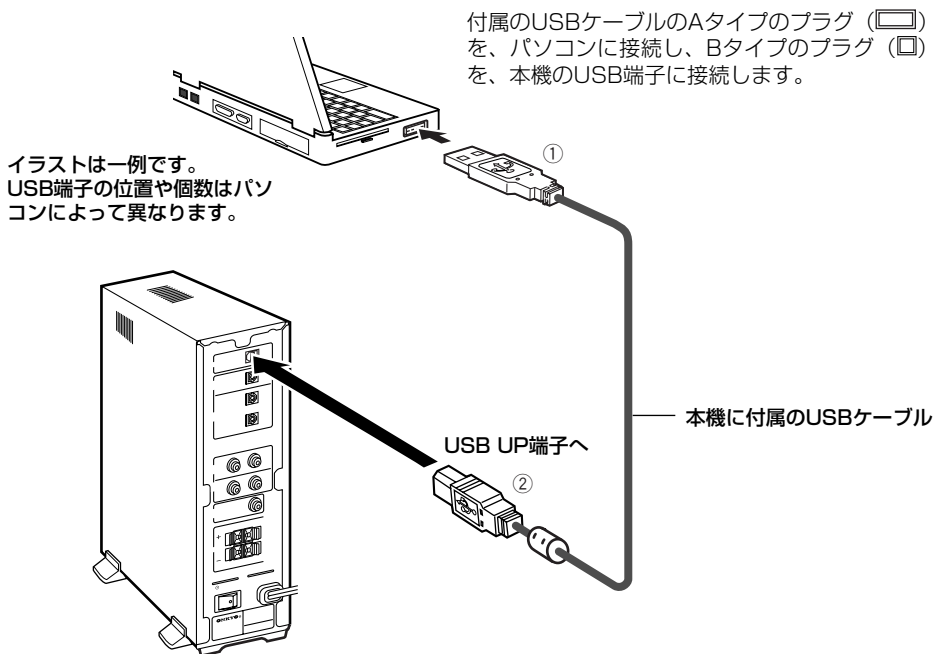
2 本機の電源コードを壁コンセントに接続する

本機後面の主電源スイッチ（POWER）をONにしてください。

3 USBケーブルをパソコンに接続し、もう一方を本機に接続する

初めてUSBケーブルを接続したときは、ドライバのインストールが始まります。22ページ、28ページをご覧ください。

付属のUSBケーブルのAタイプのプラグ（▭）を、パソコンに接続し、Bタイプのプラグ（◻）を、本機のUSB端子に接続します。

ご注意

USBケーブルを抜き差しするときは、スピーカーの音量を下げてから行ってください。

ヒント

パソコンに直接接続するようにしてください。
また、パソコン側にUSB端子が2つ以上あるときはどの端子に接続しても構いませんが、USBケーブルをつなぎ直したときに、再度デバイスドライバを要求される場合があります。

4 STANDBY/ONボタンを押して本機の電源を入れる

ドライバのインストール

本機をはじめてパソコンに接続する際には、ドライバのインストールが始まります。

1 本機とパソコンのUSB端子をUSBケーブルで接続する

本機を初めてパソコンに接続すると、Windowsが自動的に新しいハードウェアを認識し、必要なドライバソフトウェアをインストールする手順に入ります。画面の指示に従ってください。インストールにはWindowsのディスクが必要な場合もありますので、手元に用意してください。

Windows 98SEの例：

お知らせ

Windows XPでは、ほとんど何もする必要はありません。

ご注意

- ドライバは通常自動的にインストールされますが、万一インストールが進まない場合は、スタンバイ状態にしたあとPOWERスイッチを「OFF」にして一度本機の電源を切り、15秒ほど待って再度POWERスイッチを「ON」にしてからSTANDBY/ONボタンを押して電源を入れてください。それでもインストールが始まらない場合は、次の操作をしてください。

  1. 「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティー」をクリックする。

  2. 「デバイスマネージャー」タブをクリックする。

  3. 更新をクリックする。

  以上の手順でインストールが始まりますので、画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

- お客様のパソコンの環境によっては、USBケーブルを接続したパソコンの他のUSB端子に差し替えると、ドライバの再インストールを要求されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックして、ドライバをインストール時のUSB端子につなぎなおすか、手順に従ってもう一度ドライバをインストールしてください。

ドライバのインストールを確認する

必要なドライバをインストールしたら、下記の手順でそれが正しくインストールされたことを確認してください。

1 システムのプロパティからデバイスマネージャを開く

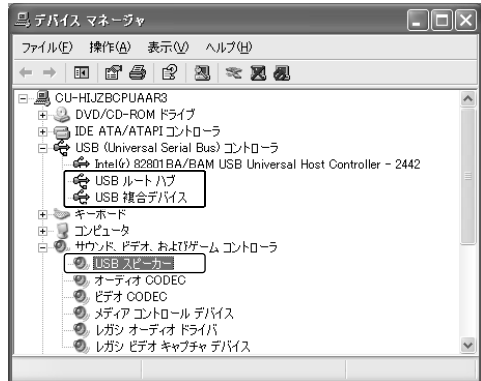
Windows XP：

「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、コントロールパネルの「システム」をクリックします。「システムのプロパティ」の「ハードウェア」タブを選んで「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows 2000：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開き、「ハードウェア」タブを選んで「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows Me：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択します。

Windows 98/98SE：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択します。

Windows XPの場合：

2 ダイアログボックスにデバイス名があることを確認する

サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラの下の階層

- **Windows XP：**USBスピーカー
- **Windows 98/98SE/Me/2000：**USBオーディオデバイス（USB Audio Devices）

USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラの下の階層

- USBルートハブ（USB Root Hub）
- USB複合デバイス（USB Composite Device）

ご注意

お使いのパソコンの仕様やオペレーティングシステムによっては、実際に表示されるデバイスリストが上記の画面と多少異なります。
「USBコントローラ」の下に「不明なデバイス」と表示されている場合は、本機からUSBケーブルを外し、もう一度接続し直してチェックしてください。それでも認識されない場合は、USBケーブルを取り外し、リストから「不明なデバイス」を削除し、USBケーブルをもう一度接続します。それでも認識されない場合は、パソコンが不安定になっている場合があるので、パソコンを再起動し、「不明なデバイス」をリストから削除してからUSBケーブルを接続し直します。それでもまだ動作しない場合はパソコン側に問題がある可能性があるので、パソコンの販売店にご相談ください。

パソコンの設定をする（Windows）

オーディオデバイスを確認する

1 オーディオデバイスを確認するパネルを開く

Windows XP：
「スタート」→「コントロールパネル」→「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」→「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」が開きます。

Windows 2000：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」をクリックします。

Windows Me：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」をクリックします。

Windows 98/98SE：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「マルチメディア」をクリックします。

2「オーディオ」タブをクリックする

3 Windows XP：「音の再生」が「USBスピーカー」になっていることを確認する
Windows 98/98SE/Me/2000：「再生」（もしくは「音の再生」）が「USBオーディオデバイス」になっていることを確認する

4「OK」をクリックする

ご注意

USBケーブルを接続してすぐに「オーディオ」ウィンドウを開くと、優先するデバイスがUSBオーディオデバイスにならないことがあります。接続後はしばらく時間をおいてからウィンドウを開き、確認してください。USBケーブルを接続しなおすときは、「オーディオ」ウィンドウを閉じてから行ってください。

Windows XPの場合：

確認したらクリックして閉じる

Windows 98SEの場合：

確認したらクリックして閉じる

音楽CDを再生するための設定をする

本機を接続した状態で、

1 「マルチメディアのプロパティ」画面（もしくは「DVD/CD-ROMドライブのプロパティ画面」）を開く

Windows XP：
「スタート」→「コントロールパネル」から「システム」アイコンをクリックし、システムのプロパティの「ハードウェア」タブ→「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。DVD/CD-ROMドライブのリストから使用するDVD/CD-ROMドライブを選択（ダブルクリック）して開き、「プロパティ」タブをクリックします。

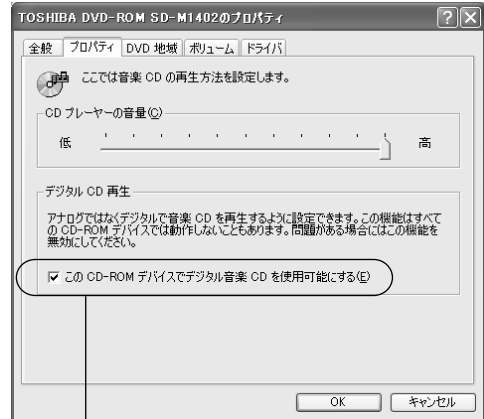
Windows 2000：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開き、「ハードウェア」タブを選んで「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。DVD/CD-ROMドライブのリストから使用するDVD/CD-ROMドライブを選択（ダブルクリック）して開き、「プロパティ」タブをクリックします。

Windows Me：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択します。DVD/CD-ROMドライブのリストから使用するDVD/CD-ROMドライブを選択（ダブルクリック）して開き、「プロパティ」タブをクリックします。

Windows 98/98SE：
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選んで、「マルチメディア」を開き、「マルチメディアのプロパティ」ウインドウで「音楽CD」タブを選択します。

2 「このCD-ROMデバイスで......」にチェックマークを入れる

3 「OK」をクリックする

Windows XPの場合：

ご注意

お使いのCD-ROMドライブがデジタル出力に対応していないときは、「このCD-ROMデバイスで......」にチェックマークを入れられません。また、「このCD-ROMデバイスで......」にチェックマークを入れられないときは、USBケーブルの接続をもう一度確認してください。

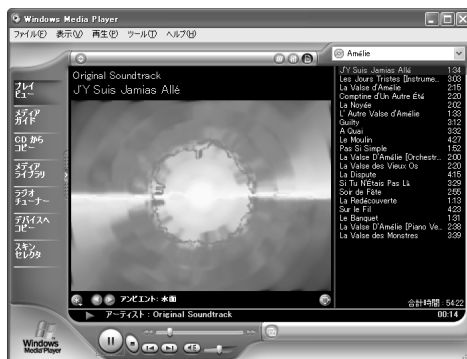
Windowsに付属のプレーヤーについて

ウィンドウズ　メディア　プレーヤー

■ Windows Media Player

CD、MP3、WAV、WMAなどを再生（または録音）することができます。

詳しくは、Windows付属のドキュメントまたはヘルプを参照ください。

Windows XPの場合：

■ CDプレーヤー

CDを再生することができます。

詳しくは、Windows付属のドキュメントまたはヘルプを参照ください。

Windows 2000の場合：

Windows XP：

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「Windows Media Player」

Windows 2000：

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「CDプレーヤー」もしくは「Windows Media Player」

Windows Me：

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「Windows Media Player」

Windows 98/98SE：

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「CDプレーヤー」もしくは「Windows Media Player」

ボリュームコントロール（再生ミキサー）の使い方

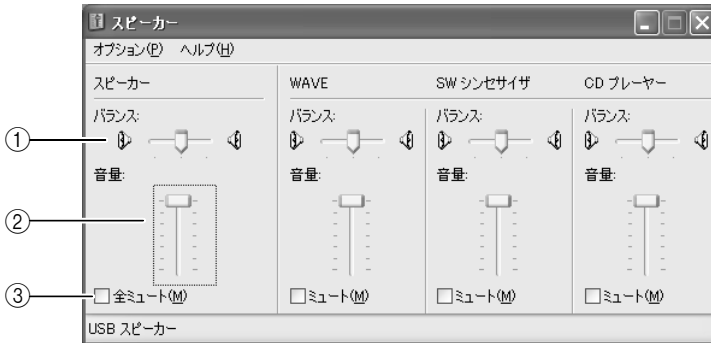
ボリュームコントロールパネルを表示します。
お使いのPC環境によっては、「ミキサーコントロール」、「スピーカー」等の名前の場合もあります。

Windows XP：

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」

Windows 98/98SE/Me/2000：

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」

Windows XPの場合：

① **バランス**

左右の出力バランスを変更します。

② **音量スライダー**

音量を調整します。

③ **ミュート**

再生中の音声を消します。

パソコンの設定をする（Macintosh）

インストールの確認

本機を接続した後、マッキントッシュが本機を正しく認識するかどうかを下記の手順で確認します。

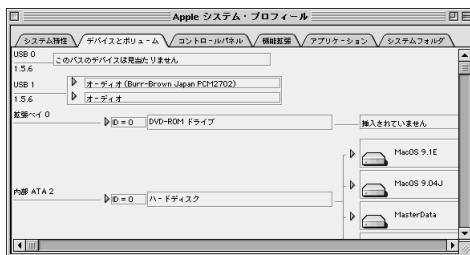
1 アップルメニューから「Apple システム・プロフィール」を選ぶ

2 「デバイスとボリューム」タブをクリックする

3 右記のようにUSBデバイスとして「Burr- Brown Japan PCM2702 」がリストにあることを確認する

ご注意

- 表示がない場合は、スタンバイ状態にしたあとPOWERスイッチを「OFF」にして一度本機の電源を切り、15秒ほど待って再度POWERスイッチを「ON」にしてからSTANDBY/ONボタンを押して電源を入れてください。
- 設定やシステムのバージョンが異なると、お使いのマッキントッシュに表示されるデバイスリストが上記のリストとは異なる場合があります。

Mac OS 9.0.4

「サウンド」コントロールパネルの確認

USB経由でマッキントッシュからオーディオを出力するには、下記の手順でオーディオ出力を設定します。

1 「サウンド」コントロールパネルを開く

2 「出力」を選択し、右記のように「サウンド出力装置の選択」が「内蔵」に設定されていることを確認する

Mac OS 9.0.4

再生中の音声を消したいときは、このチェックボックスにチェックを入れます。

Mac OS 9.1

再生中の音声を消したいときは、このチェックボックスにチェックを入れます。

3 AIFFファイルなどを再生して、本機からサウンドが正しく出力されているかを確認する

ご注意

- 設定やシステムが異なると、お使いのマッキントッシュに表示されるデバイスリストが上記のリストとは異なる場合があります。
- サウンドが聞こえない場合は、本機からUSBケーブルを外し、もう一度接続し直してからチェックしてみてください。

プラチナサウンドの使用

USB経由でプラチナサウンドを聞くには、下記の手順に従ってください。手順に正しく従わないと、プラチナサウンドが正常に動作しないことがあります。

1 本機をマッキントッシュのUSB端子から外す

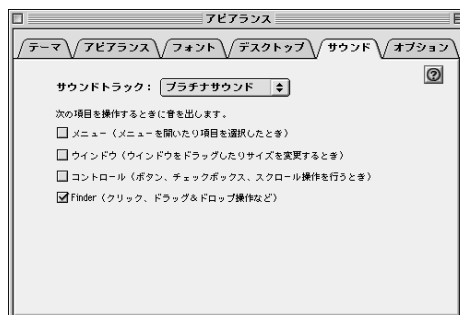
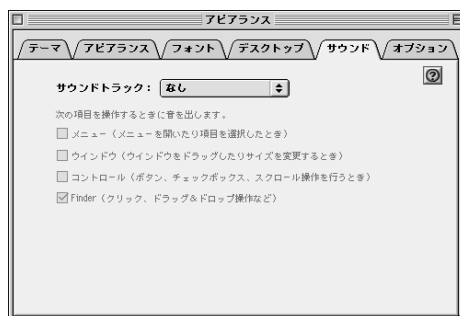
2 「アピアランス」コントロールパネルを開ける

3 「サウンド」タブをクリックし、右記のように「サウンドトラック」を設定する

4 本機をもう一度マッキントッシュのUSB端子に接続する

5 「サウンドトラック」を「プラチナサウンド」に設定する

6 「アピアランス」コントロールパネルを閉じる

Mac OS 9.0.4

付属のCD-ROMを使ってみる

付属のインストールCD-ROMを開封される前に

本製品に含まれているソフトウェアを開封される前に必ずお読みください。
本製品に含まれているソフトウェアを開封されると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「CarryOn Music」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様がおこなったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

デジタルオーディオソフト「CarryOn Music（キャリオン・ミュージック）体験版 for Windows」

MA-500UをWindows環境でご利用の場合、この度当社から初めて発売するデジタルオーディオソフト「CarryOn Music（キャリオン・ミュージック）for Windows」を試用体験することができます。使い方はCarryOn Musicをインストールしてオンラインヘルプをご参照ください。

また、このソフトウエアの製品版の詳しい内容や購入方法については、http://www.wavio.net/をご覧ください。

■ 体験版の制限事項

1. MP3形式での録音（エンコード）20曲まで。
2. 試用期間30日間。
3. CD-R/RWライティング機能はありません。
4. LINEパネルから取り込んだデータおよび編集結果は保存（SAVE）されません。

- **音楽ファイルの理を手軽に行える統合デジタルオーディオソフト**

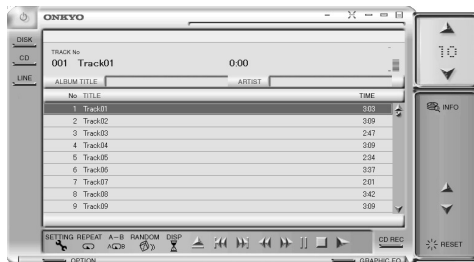
  簡単操作で、音楽CDから、話題のMP3ファイルがダイレクトに作成できるだけでなく、WAV・WMAへのエンコードにも対応。高速・高音質のMP3圧縮エンジンの搭載により、通常の録音時間より短い時間で変換できます。

- **録音した曲は、ミュージックライブラリ機能で一括管理。以前から持っていた音楽ファイルも、これからはスマートに管理**

  プレイリスト機能を使えば、好みの曲順で聞けるだけでなく、アーティスト別・アルバム別などに登録して、その日の気分で聞き分けることも可能です。

- **CDDB2（CD情報データベース）にも対応**

  インターネットにアクセスできる環境があれば、音楽CDのタイトル情報を検索・取得できます。もちろん、入力は日本語でも英語でも可能です。

CarryOn Musicの画面

用語解説

MP3（MPEG Audio Layer3）ファイルとは?

音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
Windowsの代表的な音楽ファイル形式WAVEなどと比較すると、ファイル容量が1/10程度に圧縮され、音質の劣化が少ないのが特長といわれています。

WAVファイルとは?

Windowsで標準的な音楽ファイルの形式。WAVEファイルと同じ。
音声データをサンプリングして、パソコン用のデータとして保存したファイルのことです。

WMA（Windows Media Audio）ファイルとは?

Microsoft社が開発した音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
音楽CD並みの音質と、デジタル著作権を主張できることが特長になっています。

故障かな？と思ったら

USBマルチメディアアンプが正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないとき、これ以外の症状のときは、電源コードをコンセントから抜いて「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（MA-500U）」「故障状況」をできるだけ詳しくお買い上げいただいたお店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	• 電源コードがコンセントから抜けている。	• 電源コードをコンセントに差し込んでください。（☞16ページ）
	• 外部ノイズが本体内部のマイコンに影響した。	• 電源プラグを一度コンセントから抜き、5秒以上たってから再度コンセントに差し込んでください。
	• 後面のPOWER（主電源）スイッチがOFF（オフ）になっている。	• ON（オン）にしてください。（☞16ページ）
電源は入るが、音が出ない。	• 音量が下がっている。	• VOLUMEつまみで音量を調整してください。（☞17ページ）
	• ミューティング機能がはたらいている。	• リモコンのMUTINGボタンを押してミューティング機能を解除してください。（☞18ページ）
	• ピンコードやスピーカーコードの接続が正しくない。	• もう一度接続してください。プラグやコード類はしっかりと接続してください。（☞14、15ページ）
	• マイコンが誤動作している。	• 電源プラグを一度コンセントから抜き、5秒以上たってから再度コンセントに差し込んでください。
	• 再生している機器が入力ソースとして選ばれていない。	• 入力ソースを再生している機器にしてください。（☞17ページ）
	• ヘッドホンが接続されている。	• ヘッドホンをはずしてください。（☞18ページ）
リモコン操作ができない。	• リモコンに電池が入っていない。	• 乾電池を新しく入れてください。（☞9ページ）
	• 電池の寿命がなくなっている	• 新しい乾電池と交換してください。（☞9ページ）
	• リモコン受光部が障害物でふさがれている。	• 障害物を取り除いてください。

症状	原因	処置
デジタル出力が外部機器に入力されない。	• 外部機器との接続に問題がある。	• 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合はケーブルをお確かめください。（☞14、15ページ）
雑音が多い。	• テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。 • 各入出力端子の接続が不完全。	• テレビなどから十分に離して置いてください。 • 確実に接続してください。（☞14、15ページ）

USB接続したとき

症状	原因	処置
パソコンが機器を認識しない。	• 接続が不完全。 • 接続しているハブに問題がある。 • デバイスの一部を認識しない。	• 「パソコンを接続する」を参照（21ページ）して、USBケー ブ ルを通じて本機をパソコンに確実に接続してください。 • パソコンのUSBポートに直接接続することをお勧めしますが、ハブを経由して接続する場合は、ハブが動作して いるかどうかをハブの取扱説明書にしたがって確認してください。 • USBケーブルを抜き、15秒ほど待って再接続してみてください。システムが不安定になっている場合は再起動を試してください。
音声が出ない。	• ミュートされている • 出力レベルが小さい • 他の音声出力デバイスが使用されている。	• （Windows）ボリュームコントロールを開き、ミュートのチェックをはずしてください。（☞27ページ）（Macintosh）コントロールパネルの「サウンド」を開いて、消音のチェックをはずしてください。（☞29ページ） • （Windows）ボリュームコントロールを開き、ボリュームを調整してください。（☞27ページ）（Macintosh）コントロールパネルの「サウンド」から「スピーカ」を開いてバランスを調整してください。 • （Windows）オーディオデバイスを確認してください。（☞24ページ）（Macintosh）デバイスを確認してください。（☞28ページ）
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。	• ボリュームコントロールを開き、バランスを調整してください。（☞27、29ページ）

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。	• システムがCD-ROMドライブからのデジタル音声ストリームに対応していない場合、USB経由ではCD-ROMドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をライン入力に接続し、音量を適当な値に調節してください。
ゲームのBGMが出力されない。	• BGMにCD出力が使用されている。	• 上記の「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目を参照してください。
音が途切れる。	• 音声出力、入力中に負荷のかかる作業を行っている。 • 音声出力、入力中に他のUSB機器を抜き差しした。 • CPUの処理が再生に追いついていない。 • DVD再生時、グラフィックカードのハードウェア再生支援機能を持っているPCで、機能が動作していない。	• CPUに負担のかかる作業は控えてください。 • 音声の再生中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。 • CPUが推奨スペックを満たしていない場合は、期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でも、CPUが非常に高負荷の状態である場合には音が途切れることがあります。この場合は、他のアプリケーションをすべて終了させてください。 • 「システムのプロパティ」から「デバイスマネージャ」を開き、ディスクドライブの中から音楽ファイルを保存しているハードディスクとCD-ROMドライブをダブルクリックしてプロパティを表示し、設定タブをクリックして、オプションのDMAチェックボックスにチェックを入れてください。 • DVDプレーヤーソフト側でハードウェア再生支援機能を有効にしてください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、スタンバイ状態にしたあとPOWERスイッチを「OFF」にして一度本機の電源を切り、15秒ほど待って再度POWERスイッチを「ON」にしてからSTANDBY/ONボタンを押して電源を入れてください。

製品の故障により、正常に録音ができなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

※ マイコンのリセットについて
本機のPOWER（主電源）スイッチをOFFにして再度ONにすると、初期化されると同時にスタンバイ状態になります。

主な仕様

定格出力 1kHz：	15W＋15W（ANALOG 1→SP OUT 4Ω（EIAJ））
全高調波ひずみ率：	0.2%（ANALOG 1→SP OUT 4Ω 1kHz 5W出力時）
入力感度／インピーダンス：	150mV/50kΩ（ANALOG IN 1） 75mV/50kΩ（ANALOG IN 2）
定格出力／インピーダンス：	200mV/2.5kΩ（ANALOG OUT）
周波数特性：	20～20kHz/±3dB（ANALOG IN 1→SP OUT 4Ω 1W出力時）
SN比 （IHF-A、入力ショート）：	100dB（ANALOG IN 1→SP OUT 4Ω）
トーンコントロール：	+8/－6dB（TREBLE 10kHz）
アコースティックプレゼンス：	＋7dB（82Hz）
ミューティング：	－65dB
電源：	AC100V、50/60Hz
消費電力：	25W（電気用品安全法技術基準）
待機電力：	6W
外形寸法（幅×高さ×奥行）：	110×245×256mm
質量：	3.3kg

性能および外観は、性能向上のため予告なしに変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ただちに電源プラグを抜いてから、修理を依頼してください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(MA-500U)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9：30～17：30（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e－mail：　ホームシアター/オーディオ製品　→　customer@onkyo.co.jp 　　　　　　　マルチメディア製品　→　mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL.　：　ナビダイヤル 0570－01－8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） 　　　　　　　または 072－831－8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX.　：　072－831－8124 ＊はがき　：　〒572－8540 　　　　　　　大阪府寝屋川市日新町２－１ 　　　　　　　オンキヨー株式会社　カスタマーセンター行

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ　→　http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ　→　http://www.e-onkyo.com

修理窓口 修理のご依頼は、取扱説明書の「困ったときは」、「故障かな？と思ったときは」または「故障？と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、下記へご相談ください。

地区	サービス拠点
北海道地区	札幌サービスステーション TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619 〒001-0028 札幌市北区北２８条西5-1-28　トーシン北28条ビル
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区	仙台サービスステーション TEL 022-297-0177　FAX 022-257-7330 〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル1F
栃木・群馬・埼玉・新潟地区	大宮サービスステーション TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137 〒330-0034 さいたま市北区土呂町2－17－3 グランドステータス土呂１F
千葉・茨城地区	千葉サービスステーション TEL 043-296-3915　FAX 043-273-6444 〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷５丁目２番11号
東京(23区)地区	東京サービスセンター TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124 〒111-0054 東京都台東区鳥越 1-2-3 ハマスエビル
東京(23区を除く)・山梨・長野地区	八王子サービスステーション TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312 〒192-0914 東京都八王子市片倉町 358 番地
神奈川地区	横浜サービスステーション TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603 〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13 共益ビル５F
岐阜・静岡・愛知・三重地区	名古屋サービスステーション TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331 〒465-0013 名古屋市名東区社口１丁目1001番
富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区	大阪サービスセンター TEL 072-831-8080　FAX 072-831-8124 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町２－１
鳥取・島根・岡山・広島・山口(下関を除く)地区	広島サービスステーション TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571 〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28
徳島・香川・愛媛・高知地区	高松サービスステーション TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672 〒760-0079 高松市松縄町44-8　西原ビル1F
山口(下関)・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区	福岡サービスステーション TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358 〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19 みなみビル202

オンキヨーサービス認定店（オンキヨー製品の修理を委託しているサービス認定店です。）

認定店	連絡先
静岡サービス認定店	TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-7091 〒424-0063 静岡県清水市能島171-15
北陸サービス認定店	TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768 〒910-0001 福井県福井市大願寺3-5-9
岡山サービス認定店	TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840 〒703-8271 岡山県岡山市円山13
高知サービス認定店	TEL 088-883-5642　FAX 088-883-9851 〒780-0056 高知県高知市北本町3-10-39
熊本サービス認定店	TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475 〒862-0970 熊本県熊本市渡鹿7-15-18
沖縄サービス認定店	TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195 〒901-2104 沖縄県浦添市当山558番地の8 キャッスルサイド浦添102号

2003年4月現在　お客様相談窓口・修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03（3861）8121　●大阪サービスセンター　☎ 072（831）8080

SN 29343314A

D0305-2